



2019年5月27日

東日本旅客鉄道株式会社

高崎支社

“HAPPY FLOWER PROJECT”

～八高線丹荘駅 地域の象徴として愛される駅へ～

JR東日本高崎支社は、地域のみなさまと一緒に「地域の象徴として愛される駅」をつくるため、八高線丹荘駅（埼玉県児玉郡神川町）の建替えと同時に「城峯公園の冬桜」をモチーフにした壁画を設置します。この壁画には、丹荘駅に一番近い小学校であり、駅前が多くの児童の通学路となっている「丹荘小学校」5・6年生および教員あわせて約160名の手形を施しました。数年後・・・駅を利用する際に、当時を思い出してほしいという未来への願いを込め、秋ごろのお披露目を予定しております。

“HAPPY FLOWER PROJECT”とは

「駅舎に花を咲かせましょう」をテーマに、地域の子もたちの手形を集め1本の木に花を咲かせるプロジェクトです。満開に咲いた花を、駅舎の壁面とすることで地域の象徴として愛される駅をつくります。

対象駅舎

八高線 丹荘駅（埼玉県児玉郡神川町）

参加者

神川町立丹荘小学校

5年生 64名 / 6年生 58名 / 教員 31名

建替着工日

2019年6月上旬

竣工日

2019年秋ごろを予定

駅前広場側立面図（イメージ）



コンセプト 『^{じょうみね}城峯公園の冬桜』

冬という寒い季節に咲く桜のように、たくさんの困難を乗り越えながらも立派な大人に成長してほしいという願いを込めて、城峯公園の冬桜をモチーフにしました。



ワークショップの様子（2018.10）



丹荘駅壁面デザイン完成



丹荘小学校児童のみなさま